

令和5年度東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
1	青森県	つがる市	株式会社黒滝農園 <small>くらたきのうえん</small>	 <p>農福連携の体験実習でにんにくの皮むき指導</p> <p>飼料用米を主体とした経営の安定化とにんにく加工品販売による高収益化の実現。新規就農者育成と雇用創出。加工品のラベル貼り、にんにくの種こぼし作業を福祉施設へ委託雇用。東京在住の長女がECサイトへの出品を担当。出品を機に全国にリピーター顧客が増加。</p>
2	青森県	板柳町	就労継続支援A型にじのいる	 <p>露地ピーマン定植作業</p> <p>農作業の細分化（できることの発見、適した作業の発掘）により福祉施設自らが農業に取組む。ノウフクJASを取得しピーマン栽培を行う。ハウス及びAIによる液肥供給管理システムを導入し、管理負担の軽減と農業への取組みやすさを実現。</p>
3	岩手県	一関市 ／ 平泉町	一関研農同志会	 <p>令和3年度・スマート農業導入開始式</p> <p>一閑遊水地事業とほ場整備事業によって大区画ほ場が誕生したことにより、地域の発展を強く望む若手農業者が団結して会を設立。地域にRTK基地局やGPSレベラーを導入することを提言し、スマート農業を展開。ICT技術の導入により規模拡大、生産コスト削減、労働時間削減により若手後継者が増加。</p>
4	宮城県	おおがわらまち 大河原町	宮城県柴田農林高等学校 森林環境科 森林専攻	 <p>地域企業と高校生によるチーズケーキ試食会</p> <p>東日本大震災の福島第1原発事故の影響でキノコの原木栽培が出来なくなり、新たな収入源確保のため、カエデ属の樹から樹液を採集し、メープルシロップを製造。製造したメープルシロップを地域の食品事業者や食品企業と連携して新商品づくりに取り組み、地域の発展に貢献。</p>
5	秋田県	横手市	農事組合法人たてあい館合ファーム	 <p>雇用の増大「すいかのトンネル栽培」</p> <p>国営事業により農業用水の安定供給とほ場の大区画により水管理作業が軽減され経営面積を拡大。すいかやほうれんそう、しいたけ（冬期出荷）を生産、周年雇用を実現。障がい者雇用も毎年継続。すいか果汁を長時間煮込んだジャムのような「すいか糖」を加工・販売。</p>
コミュニティ・地産地消部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
6	秋田県	横手市	秋田県南旭川水系土地改良区	 <p>キャベツの収穫</p> <p>小学校などと連携した農園活動のうち、キャベツの栽培管理の際には、資源保全隊を始め地元法人組織に裏方として協力いただいたり、地元B級グルメ「横手焼きそば」の普及に取組む「横手焼きそば暖簾会」と連携し地域一体となった取組みになっており、地元メディアが取り上げるなど盛り上がり、地域の活性化に寄与。農業体験会の参加者数は、令和元年から令和3年までコロナのため、減少したが昨年度から増加しコロナ過以前より増加。これらの取組みは、平成19年から継続して活動。</p>
7	福島県	いわき市	福島県立小名浜海星高等学校【商業科】	 <p>地元果汁を使ったわたあめ販売</p> <p>高校生がソーシャルビジネスの実践を通して地域課題を払拭し、福島県の元気発信と復興を目指す取組。地元企業と連携し、地域資源を活用した商品開発（広野町のミカン、楡葉町のサツマイモ、木戸川の鮭等）。</p>
個人部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
8	山形県	まむろがわまち 真室川町	佐藤栄子	 <p>夕食時、自分たちで収穫した野菜を使ったメニュー=みんなで食べる</p> <p>自家栽培の野菜・山菜を利用した農業体験型民宿。郷土料理や伝統野菜の加工品づくりによる6次産業化の取組。また、近隣市町村の農家民宿と連携し、農業体験旅行の受け入れ。平成28年度より大学生のフィールドワークを継続して受け入れ。</p>